

当院にて血液検査を受けられた患者さんへ

当院の外来採血室の採血患者数は1日平均960名です。患者さん毎の手袋交換や採血枕の消毒による感染対策を実施しており、また腫れや痛みなどの採血合併症が起きないように留意しておりますが、非常に小さな頻度で採血合併症が起こることがあります。そこで、患者さん一人ひとりの採血がより安全で円滑なものとなるよう、これまでの採血合併症とそれにかかわるご意見について調査していきたいと考えております。

【研究課題】

外来採血業務の解析（後向き研究）（審査番号11804）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 検査部
研究責任者 検査部 臨床検査技師 吉本 明
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2018年1月1日～2019年3月31日

【対象となる方】

2013年1月1日～2018年12月31日の間に当院検査部で血液検査を受けられた患者さん。通常診療の一環として行われる採血業務の記録を調査するため、本研究により新たな侵襲は加わりません。

【研究の意義】

一人ひとりの患者さんの採血がより安全で円滑なものとなるために、これまでの採血合併症などの記録について、発生頻度や原因、対処法などを明らかにしていくことは大変重要です。本研究より採血業務の問題点を把握して、業務改善を図ります。

【研究の目的】

患者さんの採血がより安全で円滑なものとなるよう、これまでに生じた採血合併症とそれに関わるご意見を調査、解析し、その原因や対処法について検討することです。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。通常診療の一環として実施される採血業務について、職員の業務記録（日報、対応記録など）、ご意見箱に寄せられた投書を主に解析し、採血合併症やそれに関わるご意見と、患者さんの採血データ（診療科、年齢、性別、採血時間、採血管数、採血量）との関係について

調査します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当検査部において吉本明が、パスワードロックのかかるパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、集計・解析した結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2018年12月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、光熱費程度であり、東京大学医学部附属病院検査部の運営費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師 吉本 明

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35051） FAX：03-5689-0495

Eメールでのお問い合わせ：yoshimotoa-lab@h.u-tokyo.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 検査部 検査部責任者名 技師長 曾根 伸治

2018年 1月